

## 高尾梅郷 2018

今朝目覚めると、週間天気予報とは異なり快晴となっている。今日は、JR高尾駅の西方旧甲州街道・小仏街道沿いの高尾梅郷へのウォーキング実施日。

荻窪駅発9時08分発の電車は、5分遅れで到着し高尾駅に集合予定時間の10時に滑込む。

10時12分発の京王バス停には、既に2台に乗り込めない程に乗客が並んでおり、1時間に1本しか無いバスに乗り切れるか心配。京王バスが増便するのだろうと気楽に思っていると「増便」と記載された車両が近づいて来る。一安心するも200%程かと思われる混雑のままに出発。



京王バス終点 小仏バス停

小仏梅園なる1番目の梅園は、どこにあるのか解らないまま通り過ぎてしまう。小仏街道は、小仏川のせせらぎに沿っていて、透明な溪流が水音を立てながら流れ降りて行く。



小仏バス停先に咲く紅梅



JR高尾駅北口京王バス1番 小仏行バス

徐々に乗客は降りてゆき終点の小仏に到着、下車。通常は高尾から小仏へと登って行くルートを考えるのだろうが、我等シニアにとってはまずは小仏までバスで行き、なだらかな下りを歩いて戻ろうとの作戦である。バスは定刻10時33分終点に到着。昨日まで土曜日・日曜日に梅まつりを実施しており、花盛りのはず。楽しみのイメージが広がる。

街道沿いの梅の木は、まだ春は遠いと蕾を膨らませたままで、きっと都内とは5℃程の温度差があるのだろうと想像させる。道端の紅梅が「大丈夫ですよ、咲いていますから」と歓迎してくれる。陽当りに生まれたか、日陰で育ったかの違いが如実に現れている。

大下・梅ノ里の両バス停を通り過ぎJR中央線トンネル前を左に坂を登って行く。中央高速の下部を抜け右手に2番目の目標である木下沢梅園（きかざわと読む）が広がっている。



中央高速の背面に木下沢梅園が

入口に管理協力を求める箱が用意してあり、僅かながら協力させて頂く。南から西へと広がる斜面に約1400本の梅が密植され、陽当たりが良いのか満開となって迎えてくれた。白梅を主に、紅、ピンクが所々に混じり満開の花付きを楽しませてくれる。250m角ほどの広さの梅園のそれは、高尾梅郷一番のサイズを誇っている。園内には、巡回順路が3重ほどに巡っており、休憩所等も用意され、弁当を食べながら観梅を楽しむ人たちが溢れている。



木下沢梅園の南斜面



紅白交じりの競演



記念写真を一枚



案内板…右側が南（中央高速）

先ほど歩いてきた道を梅ノ里バス停まで戻る。乗ってきたバスが高尾まで帰り、再び小仏でUターンして戻ってくる。11時41分発に上手く乗り込み、摺差（すりさ）バス停まで乗る。全ルート歩いて行くのも良いが、ほどほどの歩数に留めたいのと、高尾での昼食を2時

までには撮りたいからでもある。バスはJR中央線下のトンネルを潜り、日影、裏高尾を通過し、摺差に到着。



トンネル前の三叉路…坂を上がって行くと木下沢梅園に



摺差バス停

ここからは、街道沿いに梅が点々と咲いていてウォーキングの足を楽ませしてくれる。小仏川も清流を集め川らしく淀みを作り、地勢に沿って蛇行し、南浅川となって流れる。



紅梅と南浅川

湯の花梅林を右手南側に遠望しつつ街道を下って行く。蛇滝口バス停手前では、圏央道が、北から南に、空を2分割するかのよう

っている。



圏央道高尾山手前陸橋

この先は小仏街道から名称が変わり旧甲州街道となる。高尾梅の里まちの広場が有り、トイレも整備されている。予定では、ここで団子程度の軽食が捕れるであろうと推測していたのだが、残念ながら当てが外れた。昨日まで、梅まつりが有り売店が開かれていたのだが今日は跡形もない・・・残念。



## 天神梅林

更に街道を下って行く。荒井のバス停手前で南浅川の南側の北斜面に、天神梅林が有り、街道からは、梅の花が結構咲いているように見える。だが急斜面を上って梅林に入ってみると、意外にも北斜面であるがゆえに、陽当たりが足りないのか、まだまだ開花は進んでいない。梅林の西奥に天神様が有り、名称の由来を知った。今日の安全をお願いし、斜面を戻る。天満宮へのアプローチとして梅園が有るのだが、入口の

橋までは、上等に整備されているが、梅園内は成り行きで心もとない。



左側が天神梅林…橋から上流を見る



天満宮鳥居・・・祠は結構小さい

## 新井梅林

荒井のバス停前に幼稚園が有り、北方右側に進むと、荒井梅林の表示がある。登り側からは見えるが、下り側からは見えず、もう少しで通り過ぎてしまいそうになる。



天神梅林石標



荒井梅林…ここから200mとの記載あるも400mか？

JR中央線のガードを潜り、中央高速を目前にし、西側へと上って行くと荒井梅林が見えてくる。高速を支える1本柱の橋脚に、カズラか絡みついて景色となっているのが面白い。よく橋桁部までへばりついたと思うし、管理会社もよくそのままにしておくものだ。



高尾天満宮由来



橋脚に巻き付いたカズラ

3段の南向きの雛壇状梅林は、アクセスがあまり良くないためか、鄙びた風情だ。梅の本数も日当たりのよい事もあり、今が盛りと咲き誇っていて、見ごたえがある。



荒井梅林…満開の花盛り

### 関所梅林

荒井バス停に戻り、街道を更に下る。この辺から、街道両側の風景が多少住宅街に近いものになっている。しばらく行くと、行く手左に、黄色い霞のような花を着けた樹木が見えてくる。あまり梅の木は多くなく、サンシュの花が存在感を誇っている。黄色の花は、梅ばかりを見てきた目にフレッシュな感覚をくれた。



荒井梅林遠景



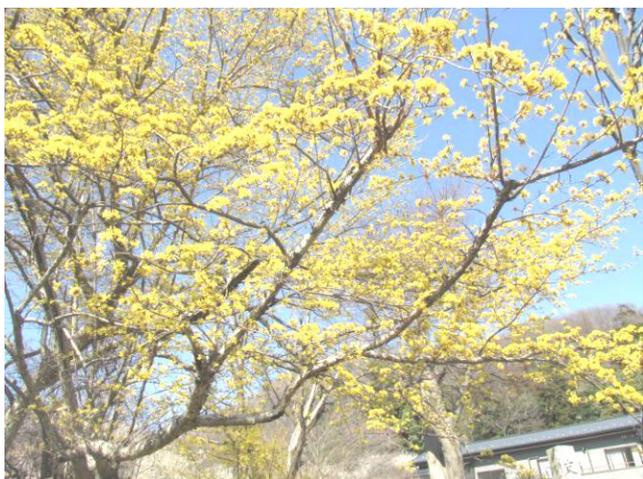
関所梅林



荒井梅林中央部



梅とサンシュのコラボ



サンシュの花



素朴な遊歩路



小仏関所由来

### 遊歩道梅林

街道を南に住宅街を下って行くと、南浅川の川縁に沿って遊歩道が設けられ、遊歩道沿いに白梅が列植されている。遊歩道と河原とに段差が有り、狭いながらも河原から見上げると、白梅が賑やかに迎えてくれる。



南浅川の河原から見上げる白梅

河原の先に水色に塗装された橋が見えてくる。国道 20 号線＝甲州街道が南浅川を過ぎて行く。この橋が今日の梅郷の終点である。



駒木野バス停



南浅川の河原から白梅を望む…奥手に国道20号

## 帰り道

この先小名路バス停から高尾駅までバスに乗って帰る予定だったが、メンバーから「歩いて行こうよ」との声が掛かりビックリ。車が多く行きかう甲州街道高尾駅近くの昼食予定の店を目指して歩を進める



国道20号…甲州街道



## アフターウォーキング

高尾周辺の店は月曜日休みの店が多い。予定の店をスルーして北口駅前の蕎麦屋にて、とろろ蕎麦を食べる。物足りなさを感じつつ、駅舎内の喫茶一言堂で次回の桜見ウォーキングの予定の打ち合わせを済ませ解散。予定通りに3時の解散である。高尾発の特別快速に乗り、三鷹で乗換えて無事荻窪に帰ってきた。

自宅からのドアtoドアで1万5000歩程のウォーキング。快晴に守られ快適な時間を過ごさせて頂いた。梅の花、天候、メンバーに感謝。今日も有難うございました。

20180312  
Suginami WINGS  
JUSTing

